

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成28年03月01日

計画の名称	甌島を縦貫する道路の整備による地域の一体化												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	鹿児島県												
計画の目標	甌島島民の悲願である甌島3島をつなぐ茜田瀬戸架橋など、甌島を縦貫する道路の整備により、甌島を陸路で結び地域の一体化を図るとともに、救急医療体制の向上や観光産業等の地域振興を支援する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	18,951	A	18,951	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	・道路整備により島内を縦貫する走行時間を74分短縮。 走行時間の短縮 短縮時間(分) = フェリーを併用した所要時間(3島連結前) - 陸路のみでの所要時間(3島連結後)	0分	0分	74分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-
・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-1, 2, 3、・薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-1, 2, 3								

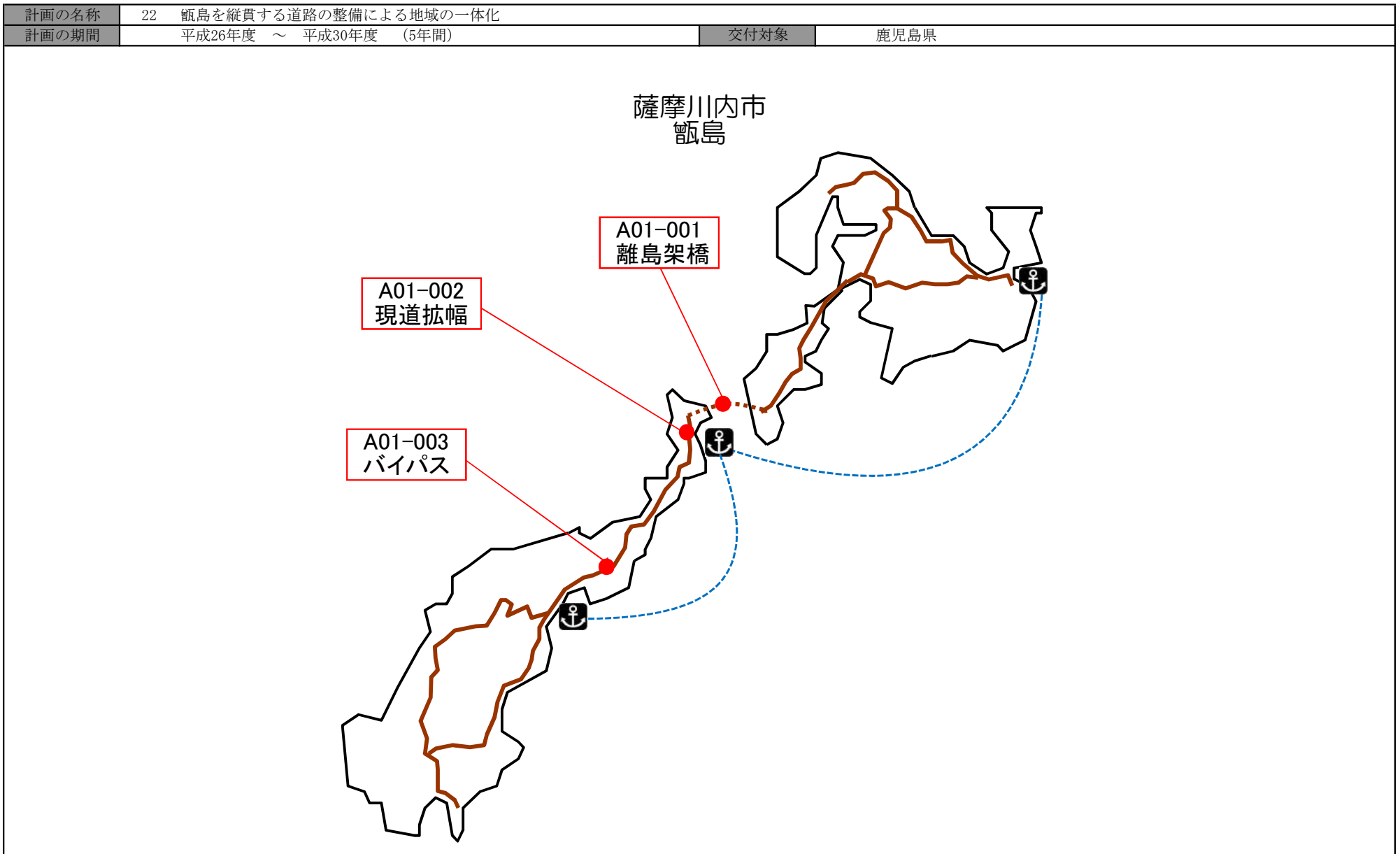
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	離島	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一)鹿児島鶴線 蘭牟田 瀬戸架橋工区	離島架橋 L=1.50km	薩摩川内市	■	■	■	■	■	18,181		—
	A01-002	道路	離島	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一)手打蘭牟田港線 蘭牟田工区	現道拡幅 L=0.90km	薩摩川内市				■	■	550		—
	A01-003	道路	離島	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一)手打蘭牟田港線 芦 浜工区	バイパス L=6.00km	薩摩川内市				■	■	220		—
											小計						18,951		
											合計						18,951		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	3,030.000	3,030.000	3,030.000	3,030.000	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	3,030.000	3,030.000	3,030.000	3,030.000	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	1,281.280	1,475.400	1,541.400	
支払済額 (e)	1,748.720	2,835.880	2,964.000	3,104.400	
翌年度繰越額 (f)	1,281.280	1,475.400	1,541.400	1,467.000	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	0.000	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	

(参考様式3) 参考図面



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 甌島を縦貫する道路の整備による地域の一体化

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○